

大間原子力発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類六の記載の誤りについて

平成26年12月16日に大間原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可の申請をいたしました。既に別紙のとおりご一報を入れておりました「大間原子力発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類六」（以下「添六」という。）の記載の一部誤りにつきまして、改めてご報告いたします。

1. 誤記の箇所

添六「5. 地震」に記載の断層パラメータ表に誤りを確認しました。

具体的には、第5.5-6表に6箇所、第5.5-2表、第5.5-4表、第5.5-5表、第5.5-13表、第5.5-14表に各々1箇所の誤りを確認しました。（別紙1、別紙2参照）

2. 誤りの確認の経緯

- (1) 地震動に係る適合性審査対応の準備作業を行っていたところ、平成28年6月、及び平成30年2月に、添六の一部に記載の誤りがあることを確認しました。
- (2) 平成28年6月に確認しました誤りについては、平成28年6月14日に、平成30年2月に確認しました誤りについては、平成30年2月5日にNRA殿にご連絡しており、確認した誤りについては、地震動初回ヒアリングにて報告するようご指示を受けております。
- (3) 他に誤りがないか再確認した結果、上記以外は認められませんでした。

3. 地震動評価への影響

該当箇所に記載の数字はいずれも地震動評価の際の入力データとして用いておらず、地震動評価は正しい値で解析されていることを確認しており、添六に記載の地震動評価に影響はありません。

また、今回地震動評価にあたり、最新知見等を踏まえ、添六に記載の検討用地震の評価を一部見直しております。その結果、上記誤りが確認された地震の断層パラメータは、いずれも当該地震が検討用地震として選定していないか、または、震源モデルの見直しを行っており、今回説明において当該パラメータを用いておりません。

4. 添付資料

- ・別紙1：大間原子力発電所 発電用原子炉設置変更申請書 添付書類六の誤記について  
平成28年6月14日
- ・別紙2：大間原子力発電所 発電用原子炉設置変更申請書 添付書類六の記載の誤りについて  
平成30年2月5日

以上

平成28年6月14日  
電源開発株式会社

大間原子力発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類六の誤記について

平成26年12月16日に大間原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可の申請をいたしました。今般、「大間原子力発電所発電用原子炉設置変更許可申請書」（以下「変更許可申請書」という。）の記載の一部に誤記を確認したため、報告いたします。

1. 誤記の箇所

変更許可申請書 添付書類六 5. 地震 第5.5-4表、第5.5-5表、第5.5-6表に各々1箇所、計3箇所の誤記を確認しました。（添付資料参照）

なお、地震動評価は正しい値で解析が行われていることを確認しております。

2. 誤記確認の経緯、及び誤記の原因

平成26年12月16日に申請をしておりましたが、審査対応の準備を行っていたところ、誤記を確認いたしました。

今回の誤記は、添付資料に示すとおり、文献中の値の転記ミスによるものであることを確認いたしました。

3. 類似箇所の調査結果

変更許可申請書 添付書類六について、本件と同様の原因により誤記の可能性が考えられる箇所について確認した結果、本件以外には認められませんでした。

4. 今後の対応

本件については、弊社の「不適合管理要領」に従い、適切に管理を行います。

5. 添付資料

誤記の内容と原因

以 上

誤記の内容と原因

変更許可申請書より抜粋(第5.5-5表、第5.5-6表も同様)

第 5.5-4 表 想定浦河沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

項目		設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層全体	基準点北緯(°)	42.3
		基準点東経(°)	142.9
		走向(°)	N229E
		傾斜角(°)	0
		長さ(km)	60
		幅(km)	40
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	2400
		上端深さ(km)	100
		地震モーメント(N・m)	3.3E+20
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	7.5E+10
		平均すべり量(cm)	550
		S波速度(km/s)	4.6
		破壊伝播速度(km/s)	3.6
Q値	115 f <sup>0.77</sup>		
微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	92
		地震モーメント(N・m)	3.1E+19
		応力降下量(MPa)	49
		平均すべり量(cm)	450
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.1E+19
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	144
		地震モーメント(N・m)	1.4E+20
		応力降下量(MPa)	114
		平均すべり量(cm)	1300
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.1E+20
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	69
		地震モーメント(N・m)	2.7E+19
		応力降下量(MPa)	65
		平均すべり量(cm)	520
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	8.2E+19

- 第5.5-4表、第5.5-5表、第5.5-6表に記載のQ値に誤記を確認。
- 当該誤記は、文献中の値の転記ミスによるものであることを確認。
- 地震動評価は、正しい値で解析が行われていることについて、解析実施状況調査において直接入力値を確認しています。



文献中の記載

表3 減衰定数から換算した等価Q値のモデル

地震タイプ	プレート間	プレート内	内陸
領域1	51 f <sup>0.76</sup>	67 f <sup>0.64</sup>	112 f <sup>0.70</sup>
領域2	93 f <sup>0.89</sup>	115 f <sup>0.77</sup>	243 f <sup>0.69</sup>
領域3	91 f <sup>0.86</sup>	149 f <sup>0.73</sup>	-
領域4	99 f <sup>0.66</sup>	114 f <sup>0.69</sup>	204 f <sup>0.65</sup>
領域5	51 f <sup>0.70</sup>	175 f <sup>0.45</sup>	163 f <sup>0.75</sup>
領域6*	39 f <sup>0.95</sup>	41 f <sup>0.87</sup>	-

川瀬博・松尾秀典(2004):K-NET,KiK-net,JMA震度計観測網による強震動波形を用いた震源・パス・サイト各特性の分離解析,日本地震工学会論文集,第4巻,第1号,2004,pp.33-52 より抜粋(一部加筆)

正誤表(1/3)

誤

正

第 5.5-4 表 想定浦河沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

第 5.5-4 表 想定浦河沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

		項 目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層 全体	基準点北緯(°)	42.3	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	142.9	
		走向(°)	N229E	
		傾斜角(°)	0	
		長さ(km)	60	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		幅(km)	40	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	2400	
		上端深さ(km)	100	地震調査研究推進本部(2010)
		地震モーメント(N・m)	3.3E+20	Morikawa and Sasatani(2004)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	7.5E+10	
		平均すべり量(cm)	550	Takeo et al.(1993) <sup>(57)</sup>
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.6	
		Q値	115f <sup>0.77</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	92	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006) <sup>(58)</sup>
		地震モーメント(N・m)	3.1E+19	
		応力降下量(MPa)	49	
		平均すべり量(cm)	450	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.1E+19	
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	144	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	1.4E+20	
		応力降下量(MPa)	114	
		平均すべり量(cm)	1300	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.1E+20	
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	69	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	2.7E+19	
		応力降下量(MPa)	65	
		平均すべり量(cm)	520	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	8.2E+19	

つづく

		項 目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層 全体	基準点北緯(°)	42.3	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	142.9	
		走向(°)	N229E	
		傾斜角(°)	0	
		長さ(km)	60	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		幅(km)	40	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	2400	
		上端深さ(km)	100	地震調査研究推進本部(2010)
		地震モーメント(N・m)	3.3E+20	Morikawa and Sasatani(2004)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	7.5E+10	
		平均すべり量(cm)	550	Takeo et al.(1993) <sup>(57)</sup>
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.6	
		Q値	149f <sup>0.73</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	92	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006) <sup>(58)</sup>
		地震モーメント(N・m)	3.1E+19	
		応力降下量(MPa)	49	
		平均すべり量(cm)	450	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.1E+19	
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	144	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	1.4E+20	
		応力降下量(MPa)	114	
		平均すべり量(cm)	1300	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.1E+20	
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	69	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	2.7E+19	
		応力降下量(MPa)	65	
		平均すべり量(cm)	520	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	8.2E+19	

つづく

正誤表(2/3)

誤

正

第5.5-5表 想定浦河沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(震源モデルの不確かさを考慮したケース)

第5.5-5表 想定浦河沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(震源モデルの不確かさを考慮したケース)

		項目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層 全体	基準点北緯(°)	42.3	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	142.9	
		走向(°)	N229E	
		傾斜角(°)	0	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		長さ(km)	60	
		幅(km)	40	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	2400	
		上端深さ(km)	100	地震調査研究推進本部(2010)
		地震モーメント(N・m)	3.3E+20	Morikawa and Sasatani(2004)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	7.5E+10	
		平均すべり量(cm)	550	Takeo et al.(1993) <sup>(57)</sup>
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.6	
		Q値	115f <sup>0.77</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	52	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006) <sup>(58)</sup>
		地震モーメント(N・m)	1.7E+19	
		応力降下量(MPa)	65	
		平均すべり量(cm)	440	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.1E+19	
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	72	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	9.8E+19	
		応力降下量(MPa)	229	
		平均すべり量(cm)	1810	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.9E+20	
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	35	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	1.4E+19	
		応力降下量(MPa)	98	
		平均すべり量(cm)	540	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	8.6E+19	

つづく

		項目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層 全体	基準点北緯(°)	42.3	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	142.9	
		走向(°)	N229E	
		傾斜角(°)	0	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		長さ(km)	60	
		幅(km)	40	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	2400	
		上端深さ(km)	100	地震調査研究推進本部(2010)
		地震モーメント(N・m)	3.3E+20	Morikawa and Sasatani(2004)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	7.5E+10	
		平均すべり量(cm)	550	Takeo et al.(1993) <sup>(57)</sup>
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.6	
		Q値	149f <sup>0.73</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	52	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006) <sup>(58)</sup>
		地震モーメント(N・m)	1.7E+19	
		応力降下量(MPa)	65	
		平均すべり量(cm)	440	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.1E+19	
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	72	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	9.8E+19	
		応力降下量(MPa)	229	
		平均すべり量(cm)	1810	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.9E+20	
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	35	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	1.4E+19	
		応力降下量(MPa)	98	
		平均すべり量(cm)	540	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	8.6E+19	

つづく

正誤表(3/3)

誤

正

第5.5-6表 想定十勝沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

第5.5-6表 想定十勝沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

		項目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層 全体	基準点北緯(°)	41.6	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	143.2	
		走向(°)	N60E	
		傾斜角(°)	90	Kikuchi and Kanamori(1995) <sup>(59)</sup> を参考に設定
		長さ(km)	120	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		幅(km)	60	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	7200	
		上端深さ(km)	25	森川ほか(2002) <sup>(60)</sup>
		地震モーメント(N・m)	2.6E+21	Kikuchi and Kanamori(1995)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	6.5E+10	
		平均すべり量(cm)	560	Kikuchi and Kanamori(1995)
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.3	
		Q値	115f <sup>0.77</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
		微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )
地震モーメント(N・m)	3.0E+20			
応力降下量(MPa)	49			
平均すべり量(cm)	1160			
短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.8E+20			
第2	面積(km <sup>2</sup> )		256	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		1.5E+20	
	応力降下量(MPa)		49	
	平均すべり量(cm)		910	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		1.4E+20	
第3	面積(km <sup>2</sup> )		144	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		3.0E+20	
	応力降下量(MPa)		229	
	平均すべり量(cm)		3230	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		5.1E+20	

つづく

		項目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層 全体	基準点北緯(°)	41.6	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	143.2	
		走向(°)	N60E	
		傾斜角(°)	90	Kikuchi and Kanamori(1995) <sup>(59)</sup> を参考に設定
		長さ(km)	120	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		幅(km)	60	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	7200	
		上端深さ(km)	25	森川ほか(2002) <sup>(60)</sup>
		地震モーメント(N・m)	2.6E+21	Kikuchi and Kanamori(1995)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	6.5E+10	
		平均すべり量(cm)	560	Kikuchi and Kanamori(1995)
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.3	
		Q値	149f <sup>0.73</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
		微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )
地震モーメント(N・m)	3.0E+20			
応力降下量(MPa)	49			
平均すべり量(cm)	1160			
短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.8E+20			
第2	面積(km <sup>2</sup> )		256	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		1.5E+20	
	応力降下量(MPa)		49	
	平均すべり量(cm)		910	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		1.4E+20	
第3	面積(km <sup>2</sup> )		144	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		3.0E+20	
	応力降下量(MPa)		229	
	平均すべり量(cm)		3230	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		5.1E+20	

つづく

平成30年2月5日  
電源開発株式会社

大間原子力発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類六の記載の誤りについて

平成26年12月16日に大間原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可の申請をいたしました。今般、「大間原子力発電所発電用原子炉設置変更許可申請書 添付書類六」（以下「添六」という。）の記載の一部に誤りを確認したため、ご報告いたします。

### 1. 誤りの箇所

添六 「5. 地震」に記載の断層パラメータ表に誤りを確認しました。具体的には、第5.5-6表に5箇所、並びに第5.5-2表、第5.5-13表及び第5.5-14表に各1箇所の誤りを確認しました。（添付資料参照）

なお、該当箇所に記載の値は、いずれも地震動評価の際の入力データとして用いておらず、地震動評価は正しい値で解析されていることを確認しており、添六に記載の地震動評価に影響はありません。

### 2. 誤りの確認の経緯

- (1)今般、適合性審査対応の準備作業を行っていたところ、解析実施者（外部委託者）より第5.5-6表に誤りがある旨連絡を受け、確認いたしました。
- (2)第5.5-6表に関する誤りの報告を受けたことを踏まえ、他に記載の誤りがないか弊社にて再確認をしている際に、第5.5-2表、第5.5-13表及び第5.5-14表に誤りを確認しました。
- (3)他に誤りがないか再確認した結果、上記以外は認められませんでした。

### 3. 添付資料

正誤表

以 上

正誤表(1/5)

誤

正

第5.5-6表 想定十勝沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

第5.5-6表 想定十勝沖スラブ内地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル)

		項目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層全体	基準点北緯(°)	41.6	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	143.2	
		走向(°)	N60E	
		傾斜角(°)	90	Kikuchi and Kanamori(1995) <sup>(59)</sup> を参考に設定
		長さ(km)	120	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		幅(km)	60	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	7200	
		上端深さ(km)	25	森川ほか(2002) <sup>(60)</sup>
		地震モーメント(N・m)	2.6E+21	Kikuchi and Kanamori(1995)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	6.5E+10	
		平均すべり量(cm)	560	Kikuchi and Kanamori(1995)
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.3	
		Q値	115 <sup>t0.77</sup>	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
		微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )
地震モーメント(N・m)	3.0E+20			
応力降下量(MPa)	49			
平均すべり量(cm)	1160			
短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.8E+20			
第2	面積(km <sup>2</sup> )		256	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		1.5E+20	
	応力降下量(MPa)		49	
	平均すべり量(cm)		910	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		1.4E+20	
第3	面積(km <sup>2</sup> )		144	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		3.0E+20	
	応力降下量(MPa)		229	
	平均すべり量(cm)		3230	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		5.1E+20	

つづく

		項目	設定値	特記事項
巨視的 パラメータ	断層全体	基準点北緯(°)	41.6	地震調査研究推進本部(2010) <sup>(32)</sup> に基づき設定
		基準点東経(°)	143.2	
		走向(°)	N60E	
		傾斜角(°)	90	Kikuchi and Kanamori(1995) <sup>(59)</sup> を参考に設定
		長さ(km)	120	Morikawa and Sasatani(2004) <sup>(40)</sup>
		幅(km)	60	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	7200	
		上端深さ(km)	25	森川ほか(2002) <sup>(60)</sup>
		地震モーメント(N・m)	2.6E+21	Kikuchi and Kanamori(1995)
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	6.5E+10	
		平均すべり量(cm)	560	Kikuchi and Kanamori(1995)
		S波速度(km/s)	4.6	Morikawa and Sasatani(2004)
		破壊伝播速度(km/s)	3.3	
		Q値	149 <sup>t0.73</sup> ※	川瀬・松尾(2004) <sup>(55)</sup>
		微視的 パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )
地震モーメント(N・m)	3.0E+20			
応力降下量(MPa)	49			
平均すべり量(cm)	1160			
短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.5E+20			
第2	面積(km <sup>2</sup> )		256	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		1.5E+20	
	応力降下量(MPa)		49	
	平均すべり量(cm)		910	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		1.2E+20	
第3	面積(km <sup>2</sup> )		144	Morikawa and Sasatani(2004) 笹谷ほか(2006)
	地震モーメント(N・m)		3.0E+20	
	応力降下量(MPa)		229	
	平均すべり量(cm)		3230	
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		4.1E+20	

※:平成28年6月報告済み

つづく

正誤表(2/5)

誤

正

つづき

		項目	設定値	特記事項
微視的 パラメータ	第4 アスペリティ	面積(km <sup>2</sup> )	144	Morikawa and Sasatani (2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	2.4E+20	
		応力降下量(MPa)	180	
		平均すべり量(cm)	2580	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	4.0E+20	
	第5	面積(km <sup>2</sup> )	256	Morikawa and Sasatani (2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	2.6E+20	
		応力降下量(MPa)	82	
		平均すべり量(cm)	1570	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.4E+20	
背景領域	面積(km <sup>2</sup> )	6000		
	地震モーメント(N・m)	1.4E+21		
	応力降下量(MPa)	5.5		
	平均すべり量(cm)	350		

つづき

		項目	設定値	特記事項
微視的 パラメータ	第4 アスペリティ	面積(km <sup>2</sup> )	144	Morikawa and Sasatani (2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	2.4E+20	
		応力降下量(MPa)	180	
		平均すべり量(cm)	2580	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	3.2E+20	
	第5	面積(km <sup>2</sup> )	256	Morikawa and Sasatani (2004) 笹谷ほか(2006)
		地震モーメント(N・m)	2.6E+20	
		応力降下量(MPa)	82	
		平均すべり量(cm)	1570	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	2.0E+20	
背景領域	面積(km <sup>2</sup> )	6000		
	地震モーメント(N・m)	1.4E+21		
	応力降下量(MPa)	5.5		
	平均すべり量(cm)	350		

正誤表(3/5)

誤

第5.5-2表 想定三陸沖北部の地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル及び震源位置の不確かさを考慮したケース)

項目	設定値		特記事項		
	基本震源モデル	震源位置の不確かさを考慮したケース			
巨視的パラメータ	断層全体	基準点北緯(°)	41.6	41.7	地震調査研究 推進本部(2004) <sup>(29)</sup>
		基準点東経(°)	143.1	142.8	
		走向(°)	N156E		
		傾斜角(°)	20		
		長さ(km)	170		
		幅(km)	100		
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	16844		
		上端深さ(km)	9.0		
		地震モーメント(N・m)	3.50E+21		
		応力降下量(MPa)	3.9		
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	4.68E+10		
		平均すべり量(cm)	444		
		S波速度(km/s)	3.9		
		破壊伝播速度(km/s)	2.5		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.88E+20		
Q値	93 <sup>0.89</sup>		川瀬・松尾(2004) <sup>(35)</sup>		
微視的パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	900		地震調査研究 推進本部(2004)
		地震モーメント(N・m)	4.45E+20		
		応力降下量(MPa)	34.0		
		平均すべり量(cm)	1056		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.12E+20		
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	400		
		地震モーメント(N・m)	1.32E+20		
		応力降下量(MPa)	34.0		
		平均すべり量(cm)	704		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.45E+19		
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	200		
		地震モーメント(N・m)	4.66E+19		
		応力降下量(MPa)	85.0		
		平均すべり量(cm)	498		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.32E+20		
背景領域	面積(km <sup>2</sup> )	15344			
	地震モーメント(N・m)	2.88E+21			
	応力降下量(MPa)	5.0			
	平均すべり量(cm)	401			
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	6.84E+19			

正

第5.5-2表 想定三陸沖北部の地震の断層パラメータ  
(基本震源モデル及び震源位置の不確かさを考慮したケース)

項目	設定値		特記事項		
	基本震源モデル	震源位置の不確かさを考慮したケース			
巨視的パラメータ	断層全体	基準点北緯(°)	41.6	41.7	地震調査研究 推進本部(2004) <sup>(29)</sup>
		基準点東経(°)	143.1	142.8	
		走向(°)	N156E		
		傾斜角(°)	20		
		長さ(km)	170		
		幅(km)	100		
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	16844		
		上端深さ(km)	9.0	15.8	
		地震モーメント(N・m)	3.50E+21		
		応力降下量(MPa)	3.9		
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	4.68E+10		
		平均すべり量(cm)	444		
		S波速度(km/s)	3.9		
		破壊伝播速度(km/s)	2.5		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.88E+20		
Q値	93 <sup>0.89</sup>		川瀬・松尾(2004) <sup>(35)</sup>		
微視的パラメータ	第1	面積(km <sup>2</sup> )	900		地震調査研究 推進本部(2004)
		地震モーメント(N・m)	4.45E+20		
		応力降下量(MPa)	34.0		
		平均すべり量(cm)	1056		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.12E+20		
	第2	面積(km <sup>2</sup> )	400		
		地震モーメント(N・m)	1.32E+20		
		応力降下量(MPa)	34.0		
		平均すべり量(cm)	704		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	7.45E+19		
	第3	面積(km <sup>2</sup> )	200		
		地震モーメント(N・m)	4.66E+19		
		応力降下量(MPa)	85.0		
		平均すべり量(cm)	498		
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.32E+20		
背景領域	面積(km <sup>2</sup> )	15344			
	地震モーメント(N・m)	2.88E+21			
	応力降下量(MPa)	5.0			
	平均すべり量(cm)	401			
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	6.84E+19			

正誤表(4/5)

誤

正

第 5.5-13 表 F-14 断層による地震の断層パラメータ  
(断層傾斜角の不確かさを考慮したケース)

第 5.5-13 表 F-14 断層による地震の断層パラメータ  
(断層傾斜角の不確かさを考慮したケース)

項目		設定値	特記事項	
巨視的 断層全体 パラメータ	基準点北緯(°)	41.6	地質調査結果, 地震発生層, 傾斜角, 断層長さを考慮して設定	
	基準点東経(°)	140.8		
	走向(°)	N107E	地質調査結果に基づき設定	
	傾斜角(°)	60		
	すべり角(°)	45		
	長さ(km)	20.0	Stirling et al. (2002) <sup>(35)</sup> を参考に設定	
	幅(km)	15.0	地震発生層, 傾斜角を考慮して設定	
	上端深さ(km)	4		
	断層総面積(km <sup>2</sup> )	300		
	地震モーメント(N・m)	5.0E+18		
	応力降下量(MPa)	2.4		
	剛性率(N/m <sup>2</sup> )	3.2E+10		
	平均すべり量(cm)	52		
	S波速度(km/s)	3.5		
	破壊伝播速度(km/s)	2.5		
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	9.1E+18		
	Q値	100 f <sup>-1.0</sup>	Kakehi and Irikura(1997) <sup>(62)</sup>	
	fmax(Hz)	8.3	香川ほか(2003) <sup>(63)</sup>	
	微視的 アスペリティ パラメータ	面積(km <sup>2</sup> )	45	
地震モーメント(N・m)		1.5E+18		
応力降下量(MPa)		15.5		
平均すべり量(cm)		105		
短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		9.1E+18		
背景領域 パラメータ		面積(km <sup>2</sup> )	255	
		地震モーメント(N・m)	3.5E+18	
	応力降下量(MPa)	2.9		
	平均すべり量(cm)	43		

項目		設定値	特記事項	
巨視的 断層全体 パラメータ	基準点北緯(°)	41.6	地質調査結果, 地震発生層, 傾斜角, 断層長さを考慮して設定	
	基準点東経(°)	140.8		
	走向(°)	N107E	地質調査結果に基づき設定	
	傾斜角(°)	60		
	すべり角(°)	45		
	長さ(km)	20.0	Stirling et al. (2002) <sup>(35)</sup> を参考に設定	
	幅(km)	15.0	地震発生層, 傾斜角を考慮して設定	
	上端深さ(km)	4		
	断層総面積(km <sup>2</sup> )	300		
	地震モーメント(N・m)	5.0E+18		
	応力降下量(MPa)	2.3		
	剛性率(N/m <sup>2</sup> )	3.2E+10		
	平均すべり量(cm)	52		
	S波速度(km/s)	3.5		
	破壊伝播速度(km/s)	2.5		
	短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	9.1E+18		
	Q値	100 f <sup>-1.0</sup>	Kakehi and Irikura(1997) <sup>(62)</sup>	
	fmax(Hz)	8.3	香川ほか(2003) <sup>(63)</sup>	
	微視的 アスペリティ パラメータ	面積(km <sup>2</sup> )	45	
地震モーメント(N・m)		1.5E+18		
応力降下量(MPa)		15.5		
平均すべり量(cm)		105		
短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )		9.1E+18		
背景領域 パラメータ		面積(km <sup>2</sup> )	255	
		地震モーメント(N・m)	3.5E+18	
	応力降下量(MPa)	2.9		
	平均すべり量(cm)	43		

正誤表(5/5)

誤

正

第 5.5-14 表 F-14 断層による地震の断層パラメータ  
(応力降下量の不確かさを考慮したケース)

第 5.5-14 表 F-14 断層による地震の断層パラメータ  
(応力降下量の不確かさを考慮したケース)

		項 目	設定値	特記事項
巨視的 断層全体 パラメータ		基準点北緯(°)	41.6	地質調査結果、地震発生層、傾斜角、断層長さを考慮して設定
		基準点東経(°)	140.8	
		走向(°)	N107E	地質調査結果に基づき設定
		傾斜角(°)	90	
		すべり角(°)	0	
		長さ(km)	20.0	Stirling et al. (2002) <sup>(35)</sup> を参考に設定
		幅(km)	13.0	地震発生層、傾斜角を考慮して設定
		上端深さ(km)	4	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	260	
		地震モーメント(N・m)	3.8E+18	
		応力降下量(MPa)	2.2	
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	3.2E+10	
		平均すべり量(cm)	45	
		S波速度(km/s)	3.5	
		破壊伝播速度(km/s)	2.5	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.2E+19	基本震源モデルの1.5倍
		Q値	100 f <sup>-0.4</sup>	Takehi and Irikura(1997) <sup>(62)</sup>
fmax(Hz)	8.3	香川ほか(2003) <sup>(63)</sup>		
微視的 断層全体 パラメータ		面積(km <sup>2</sup> )	36	
		地震モーメント(N・m)	1.0E+18	
		応力降下量(MPa)	24.0	基本震源モデルの1.5倍
		平均すべり量(cm)	91	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.2E+19	基本震源モデルの1.5倍
背景領域 断層全体 パラメータ		面積(km <sup>2</sup> )	224	
		地震モーメント(N・m)	2.7E+18	
		応力降下量(MPa)	4.6	基本震源モデルの1.5倍
		平均すべり量(cm)	38	

		項 目	設定値	特記事項
巨視的 断層全体 パラメータ		基準点北緯(°)	41.6	地質調査結果、地震発生層、傾斜角、断層長さを考慮して設定
		基準点東経(°)	140.8	
		走向(°)	N107E	地質調査結果に基づき設定
		傾斜角(°)	90	
		すべり角(°)	0	
		長さ(km)	20.0	Stirling et al. (2002) <sup>(35)</sup> を参考に設定
		幅(km)	13.0	地震発生層、傾斜角を考慮して設定
		上端深さ(km)	4	
		断層総面積(km <sup>2</sup> )	260	
		地震モーメント(N・m)	3.8E+18	
		応力降下量(MPa)	2.2	
		剛性率(N/m <sup>2</sup> )	3.2E+10	
		平均すべり量(cm)	45	
		S波速度(km/s)	3.5	
		破壊伝播速度(km/s)	2.5	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.2E+19	基本震源モデルの1.5倍
		Q値	100 f <sup>-0.4</sup>	Takehi and Irikura(1997) <sup>(62)</sup>
fmax(Hz)	8.3	香川ほか(2003) <sup>(63)</sup>		
微視的 断層全体 パラメータ		面積(km <sup>2</sup> )	36	
		地震モーメント(N・m)	1.0E+18	
		応力降下量(MPa)	23.8	基本震源モデルの1.5倍
		平均すべり量(cm)	91	
		短周期レベル(N・m/s <sup>2</sup> )	1.2E+19	基本震源モデルの1.5倍
背景領域 断層全体 パラメータ		面積(km <sup>2</sup> )	224	
		地震モーメント(N・m)	2.7E+18	
		応力降下量(MPa)	4.6	基本震源モデルの1.5倍
		平均すべり量(cm)	38	